



ロータリー：
変化をもたらす

パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 奉仕の理想のさらなる実現に向けて

パワー浜松ロータリークラブ (2017-18年度 会長: 長谷川 博久 幹事: 後藤 達朗)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第682回例会 7月18日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 安藤幸史 鈴木直幸
- 点鐘: 長谷川博久
- ゲスト: 日本プロゴルファー浜名湖 CC
所属プロ 並木一雄様
- 議事: 会員選考・クラブ研修委員会
「プロゴルファー生活 25 年間を振り返って」

〈出席報告〉

会員数 80名(内 出席免除会員2名)

出席数 59名 出席率 75, 64%

前々回出席率 84, 62%

■会長挨拶



おはようございます。本日は、早朝よりプロゴルファーの並木様においでいただきましてありがとうございます。また、席につきましてもゴルフにちなんだ名前でユニークな設営を感謝します。後ほど卓話で素晴らしい話を聞けることを楽しみにしております。

さて、先週第 7 分区の会長幹事会がありました。10 月 17 日開催のポリオの募金活動です。普段、我々メンバーは、寄付することがあっても募金活動まではなかなかありません。そういう意味で募金活動を通してロータリーの公共イメージの向上にもつながるかと思われますので皆様の参加をお願いいたします。そして浜松ローターアクトクラブが再結成され本年度より活動しております。一時メンバーがそろわなくて休止状態でしたがまた、本年度から再開されます。例会等来られる機会もありますので皆様のご支援をお願いいたします。最後になりますが会長幹事会の席で次年度以降の体制が協議されました。次年度から第 5 分区に変更となり、浜松市内のすべてのロータリークラ

ブが一緒となります。11 ロータリーで総勢 600 名を超えるようになります。その中でガバナー補佐の順番が協議されました。浜松ロータリーから順に進めていくことでまとまりそうです。そうしますとパワーは 11 番目となり今から 11 年後にガバナー補佐を担当することになります。11 年ありますので若い方でもガバナー補佐になる機会が十分にあります。これから長期的な展望を計画立てていくことが必要かと思われますので皆様のご意見を伺わせていただきたいと思います。本日もよろしくお祈りいたします。ありがとうございました。

■幹事報告



- ①本日レターケースに会員手帳を配布しました。尚、PRCの会員の名簿を間に挟んであります。
- ②7~月分の会費の請求書で、お振込みの方には請求書をレターケースに配布しました。また、引き落としの方には、請求書をオールパワーでご連絡致します。

■委員会報告



ゴルフ同好会 高木さん

表彰をします。優勝は山崎さんです。ブービー賞は後藤さん、ブービーメーカーは村田さんです。

長谷川年度の会長は、鷲津さん、幹事は、松本さん、青山さんです。

新世代奉仕部会 熊谷さん 8月19.20日に、ワールドロボットオリピヤードのボランティア募集します。

■議事



並木一雄さん 東京生まれ 修善寺でプロゴルファー
静岡県大会 シニアの部優勝



浜名湖カントリークラブ所属です。1961年、設立、県西部では一番古いゴルフ場です。

昨日の皆さんスコアを持って来ました。皆さんに上手になって欲しいと思います。

プロとアマの考えの違いを話します。プロの方が簡単に考えています。次回は、皆さんが二桁で回れる様にして欲しいと思います。

先ず、アドレスです。バンカー越えて高く上げないといけない時、段々目が下がって行く、あれでは、打てないです。構える、動かすのは首だけです。顎が高い、視線は砂地しか見えない、自分の体幹が固定する。次は、スイングです。アマと大きな違いは、腕の長さのイメージが腕の付け根から両サイドから一本伸びていると考えます。ブービーの村田さんにモデルになってもらいます。バックスイングのイメージを変えるだけで大きく変わる。パッティングも同じです。よく言われる五角形です。イメージで全て変わります。捻れを下半身、上半身が大きく捻れると言うイメージを持っていますが、5ミリ位しか捻れていません。腕の付け根が一番捻れている訳です。このイメージで何人もスイングを直しました。村田さんも次回は、ゴルフのスコアになると思います。背骨の付け根から一本になってるイメージです。次に、アプローチです。距離感の出し方に違いがある。スピード感がバラバラ。体の捻れで、ここから、ここまで50ヤードと言うイメージを持っている。次に、パッティングです。アマは、方向重視ですが、プロは、ラインを読み、距離感を付けます。そこにフェイス面を付け、距離感だけを考えます。二つは考えない。そこに打てる様になったから入るのではなく、距離感が合っている事が一番大切です。練習でも、カップに入れる事に集中するのではなく、グリーンに慣れ、距離感を掴む事が大切です。パター

の選びも、無意識で自分が動かす一番気持ちよく振れる感覚を掴んで下さい。それが何歩あるかを覚える様にして下さい。タイガーウッズの全盛期の話です。インタビューで「どういう感覚で打っているのですか？」と聞くと、「ボールが25回転する様に打っている。」と言っている。これが世界のトップの感覚です。プロの中で一流か二流かは、心技体の心の部分の違いです。ギャラリーが来て、『僕の事見てね』石川遼とかはこれ。全く消せる人、宮里や松山とかはこれ。意識してしまう人、並木です。最後に80才、90才になっても自分の年寄りも低いスコアで回れる人。エイジシューターにアンケートを取りました。共通点は、変則グリップはしない、スタンスは狭め、体は起して構える、大股で歩き早い、お肉が好き、最後にスケベ。是非、楽しくゴルフを楽しんで下さい。



■スマイル

金山さん 本日は、並木プロには、早朝よりの卓話ありがとうございました。

原田さん 事務所の社員も増え、駐車場を購入します。

原田さん 遠鉄不動産投資セミナーがあります。

山崎さん 青空例会で優勝する事ができました。

長谷川会長 並木プロ、ゴルフを知らない私でも興味深いお話ありがとうございました。